中３化学の実験をご紹介します

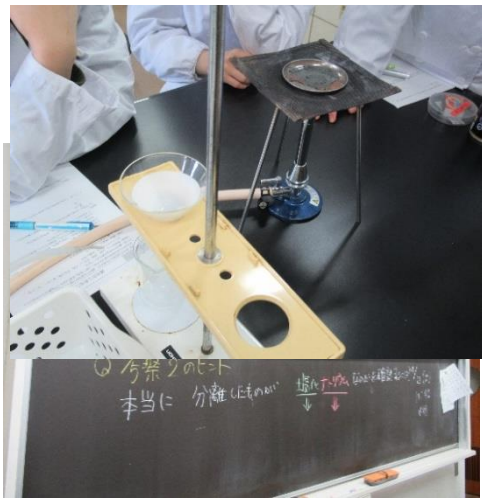
本校の理科の授業では実験を多く取り入れています。本日は中学３年生の化学の授業で行われた「醤油から食塩分離」の実験の様子をご紹介します。

私たちの身の回りにある物質のほとんどは「混合物」です。この実験では身近な液体である醤油から食塩を取り出し、「混合物」から「純物質」を取り出す方法を学びました。

実験では醤油を蒸発皿にはかりとって加熱をしました。途中、黒く焦げ始めて煙が出てくるのですが、煙が出なくなるまで加熱を続け、その後、冷ましました。冷ました物質を蒸発皿から下ろし、蒸留水を加えてガラス棒でよくかき混ぜました。これをろ過し、固体と溶液に分離させ、溶液を蒸発皿に入れて加熱しました。すると白い物質（食塩）が蒸発皿に残りました。

なかなか思うような結果に至らなかった班もありましたが、生徒たちは身近なものを化学的に調べることの面白さとやりがいを感じていました。特に「黒い醤油から白い食塩が出てくること」に驚いている姿が印象的でした。

実験の様子①



←

教員による指示

→

取り出した食塩

実験の様子②